

香川ニュース

第28号

会 会 所 所
会 員 員 治 治
刷 印 委 員 員
3 7 2 1
香 川 自 治 会
廣 報 子 報
金 報 子 報
0463 (55)



明けまして
お目出度う
御座居ます

※新年を迎えて
香川自治会長
熊沢伊助



輝かしい昭和四十八年の新春を迎えるにあたり、会員のご家族皆様の御健勝を心からお喜び申し上げます。なお自治会の事につきましても、日頃何かと深いご理解と、ご協力をいただき感謝いたしております。

難の一年でありましたが、おかげ様で、わが香川自治会は順次進展を続けて参りました。しかし、ここで私達の愛する香川が、果して住みよいかという事を考えてみますと、なかなか充分ではないと思えます。早急に必要事項は、公共下水道施設であります。これは急増都市全域にまぬがれない要望で、その上日常生活に密接な関係がありますので、各地域共市当局への要望が殺到しております。自治会も再三、再四強く要望致し、頑張っております。

先般香川ニュースのインタビュー欄で「官公署は不便だが、日用品は間に合うし、住民の人柄も良く、余生を送るには良い所だ」という感想を寄せていただきましたが、このイメージをこわさぬように、更に住み良い香川を作ることを願っております。

相鉄線の乗り入れの計画、香川一茅ヶ崎間駅の複線、これに伴う区画整理、土地開発の問題、駅の拡張、上屋の要求の手段など、新年を迎えるにあたり、健康で明るく住み良い香川の環境づくりを願って、大いなる決意のもとに、前進したいと思っております。どうか住民各位の一層のご協力をお願いし、ごあいさついたします。

総務報告
○公民館敷地の借用決まり屋根改修終る。
前号にてお知らせした通り、公民館敷地について第一回公民館対策委員会を昨年十一月十一日に開き、
委員長 熊沢伊助
副委員長 岡本 豊
総務(議長) 国末 節
右の役員を決定し、早速対地主交渉を行うこと、話し合ひを坂田氏宅にて行い、十一月十八日三役にて貸借契約書を取りかわし、契約終了期限を五十二年十二月末日とした。引き続き、公民館の屋根の修理を柳川治郎氏に依頼し、対策委員有志の応援を得て完了した。

青少年の皆さんへ
成人式「一月十五日」
おめでとう御座居ます。心身共に立派な社会人となつた、前途ある人生の門出に、幸多かれと祝福致します。

香川の将来について
中通八組 亀井隆義
年頭にあたり香川の将来について、若干の展望を試みるのみで、思いのまま。最初市内の地域としての香川の位置づけをしてみますと、昭和三十四年に僅か三百戸一七〇〇人でしたが、十一月現在の市の統計に一日と世帯数一六九二、人口六、二五八人を数え、市内最高の伸び率となつております。そして甘沼に接した東部には香川の一部を含めた東急団地が同居の計画は五五〇戸二千人が見込まれております。このように香川には都市化の波が押しよせています。現状でも足柄上郡中井町に相当する人が住んでいて、これを考えますと何故もつと都市施設が整備されなかつたという住民の不満が出てくるのも当然であります。

新年の関頭に立つて
「これでよいのか青少年育成」
昭和四十八年の年頭に際し地域の青少年健全育成組織の在り方と問題点を考えて見ましよう。まず青少年をとりかこむ環境ですが、皆様もご承知のように近年急速に人口も増加し、社会環境は急激に変ぼうをとげて

市当局に決断と実行を迫らなければならぬと存じます。私もは議会人の立場から十一月下旬市長に「市政の転回を求める建議書」を提出し市長の見解を求めるなど行動化しております。

市当局に決断と実行を迫らなければならぬと存じます。私もは議会人の立場から十一月下旬市長に「市政の転回を求める建議書」を提出し市長の見解を求めるなど行動化しております。

市当局に決断と実行を迫らなければならぬと存じます。私もは議会人の立場から十一月下旬市長に「市政の転回を求める建議書」を提出し市長の見解を求めるなど行動化しております。

市当局に決断と実行を迫らなければならぬと存じます。私もは議会人の立場から十一月下旬市長に「市政の転回を求める建議書」を提出し市長の見解を求めるなど行動化しております。

市当局に決断と実行を迫らなければならぬと存じます。私もは議会人の立場から十一月下旬市長に「市政の転回を求める建議書」を提出し市長の見解を求めるなど行動化しております。

市当局に決断と実行を迫らなければならぬと存じます。私もは議会人の立場から十一月下旬市長に「市政の転回を求める建議書」を提出し市長の見解を求めるなど行動化しております。

市当局に決断と実行を迫らなければならぬと存じます。私もは議会人の立場から十一月下旬市長に「市政の転回を求める建議書」を提出し市長の見解を求めるなど行動化しております。

市当局に決断と実行を迫らなければならぬと存じます。私もは議会人の立場から十一月下旬市長に「市政の転回を求める建議書」を提出し市長の見解を求めるなど行動化しております。

特集

ふるさと の思い出



昔なつかしい香川のどんどんやき
いつまでも残したいのしい行事です

詩

広里多美

ふる里の思い出とは
いつも優しく 温かく
いとおいしいものである

悲しみの時には
年老いた母がしのばれ
喜びの日こそ
友の顔が よみがえる

幾とせすぎても
暎の奥に泉となりて
溢れるは なつかしの

どんどん焼きの思い出

渡辺昌信



ふる里の あつ山
あの川で ある

正月の思い出といえ
ば、楽しさが一ぱいであ
った。子供の頃のこと
その少年の頃を過した
私の故郷は、山梨県の一
寒村である。三十余年も
の古い記憶を引き出す
にさほど手間をとらな
いもの。小正月の行事と
してのどんどん焼きが
川原に松や杉の生の裏
木(材木を取った残りの
枝のこと)を集め、適当
な焚木を添え大きな火を
燃やすわけだが、火勢が
強く広い川原に大勢の村
人を集めた、正月一の行
事ともいえるものであ
った。どんどんの火は神聖
なものと考えられ、その
火で餅や団子を焼いて食
べ、または体を温めると
災難を免がれ、あるいは
若返るなどといわれて、
その灰を体にぬつたり、
また燃え残りを家に持ち
入れておいたりした。ま

た書き初めをした用紙を
この火にくべ、その燃え
あがる紙の高くのぼるの
を、手あがるの慣わしが
あった。学校が冬休みに
入るや、一月十四日のど
んどん焼きを目標に、焚
木集めが子供達の日課と
なる。松が明けると各家
の松飾や、書き初めを集
めて廻るなど、それぞれ
れ分担任して着々と準備
したものである。何日も
苦勞も、燃え上った火に
類を焼き、喜々として夜
更まで語り合う村人を
みても、忘れてしまった
のである。そんな楽しい
行事も、その後縮少の一
途をたどり、盛大だった
火祭は今や見られな
い。しかしたとえ規模は小
さくとも一度機会を得て
かえってみたいものであ
る。

私のふるさと

原秋芳

だいが昔のこと、ト
ギレ、トギレではありま
すが、懐かしい思い出を
追って見よう。小学三年
頃、所は四国香川県、海
美な国立公園……
子供の頃は他県に出掛け
る事もなく別に美しいと
も、暖かく住み良いとも
感じた事はなかった。
鉄道も無く電気ガスも
なく、夜になると石油ラ
ンプに火を灯し、うす暗
い所で弟妹達とオハジキ
お手玉などして遊んだも
のだった。暮の二十八日
は餅つき、白粟、キビ、
くるみ、色々搗くが皆大
な丸もちにする。お正月
月三ヶ日の神様仏様始め
朝のお祝に、来客の
こともなして迄男性が客
にたいしてふだんの労働を
稿つて下さる温かい思い
が感じられました。又お
正月の行事に風上げが盛
んでした。大人から幼児
までそれぞれ力に見合
は大人五六人で上げるよ
うな絵とか字を書いた見
事な風が、青空高く上り
グリーン、グリーンと云う音
も出してどこの風が一番
高く上るかを競ったもの
でした。
又、女の子はハネつき、
お手玉、紙風船、石けり、
縄とび等遊び道具はすべ
て自分達の手で造ったも
のだった。其の頃のお正
月はお年玉はなく、お金
を使った記憶はお祭りに
二銭銅貨一枚貰った事、何
時もお金は大切に無駄使
いはせぬようにと教えら
れたことを思い出します。
* 幼き日の思い出 *
S・K

僕の家ではお年玉の玉の
字ももらえず、友達のお
父さんとおじさんから二
十円もらった事である。
友達の家は農業でした
が、ただ友達ということ
だけで良くくれたもので
ある。
終戦の二、三年後であ
り、物資の少い頃のお正
月は珍らしい物も、美味
しい菓子もなかったが、
ピンポン玉位の鉄砲玉(ア
メのこと)を口一杯ほ
おぼりながらコマ廻しに
無中になり、結構たのし
いんだものだ。今の子供
さんは幸せそのものだが、
余りにも夢が少いと思う。
当時流行だった、ベエ
ゴマがほしくて、一銭、
二銭と、お金を家中捜し
廻ったあの苦勞は、二度
と味わえない。楽しい故
里の思い出となっている。

子供さんへ

水田博子

新聞やニュースで高松
塚古墳や古遺跡のこと
が出ていましたね。地元
の小、中学生も毎日通
つて眼を輝かせて見学し
ているようですが、皆、将
来のことも知りたいし、

又古い時代のことも知り
たいですね。
ちよつと正月のおせち
料理を見てごらん下さい。
黒豆、きんとんと皆大
好きなものばかりです。
でも昔の人はこの黒豆や
きんとんの栗などは食べ
るだけでなく着物を染め
るのに使ったのですよ。
古代の人たちは野山をか
け廻つて狩をするのに動
物に気付かれないように
木の葉や皮で体を覆って
いました。そしてもう一
つの役目として暖かさを
保つたためにもありました。
それがだんだん温度の
変化で暖かい土地の人は
体に直接、木や実の汁を
塗り、寒い土地の人は木
の皮や葉の繊維で編んだ
衣を汁に漬けたりして、
自然の色を身につけて保
護色として使っていたの
だそうなんです。こうして徐
々に発展してきた衣を皆
が着るようになって今
で実用だけに考えなま
った色に対して欲が出て
きて、ちよつと変わった色
ができることもつと、も
つと、ということになり
色々な植物が使われるよ
うになりました。
重箱のご馳走の中に、

まだまだ、昔の色に利用
されたものはたくさんあ
ります。杏、胡桃、梅、
玉葱、きんとん、材料の
さつまいも、栗、栗を染
めるくちなしなど、くら
なしは庭木です。お庭
を見ていただくさんあり
ます。南天、萩、ばら、海
棠杏、楓、檜、檜、
の木の皮や花、莖、実、
などから色をとりました。
こう考えると、こんな
見馴れた木が今皆が初詣
に着飾つて歩く美しい振
袖の着物とつながりがあ
るなんて思つてもみませ
んでしたね。おせち料理
から床の間の南天の生け
花からこんな昔の人の工
夫が忍ばれるなんて楽し
いですね。
身の廻りから色んなこ
とを発見して色々発展
させていくことも大切だ
と思います。
木の名前の漢字は小学
上級生や中学の方なら読
めるでしょう。もしまだ
習っていないかったら、字
引を見て下さい。もしど
んな木だか知らなかった
ら図鑑があったら探して
みて下さい。



旅行記(婦人会)

小野 静江

急激に変化する現代社会に対応して婦人団体を展開するに当り、特に今年度神奈川地域婦人団体連絡協議会では、「いのちとくらしとふるさとを守るために」とのテーマを設定して県下八ブロックにおいて、研究討議されました。

茅ヶ崎市では勿論香川婦人会も其の中にはいつて居ります。テーマは「家庭における消費経済の実態調査をふまえて」と云うのでアンケートを取り、職業、住居、家庭数、収入料、主食費、副食費、医療、貯蓄等、教養の面、レジャーの面と、各グループ毎に色々やって居ります。然し一つの団体生活、活動となりますと、矢張り御主人、家族の理解がなければ、一時間、二時間の時間でも開けにくいと云う事です。幸い香川婦人会では旦那様、家族の方々の婦人に対する理解が県下一と定評がございします。

お陰様で十月始一泊旅行で飛騨高山へ参りました。東名高速道路を下呂温泉に向う山々の間から白い湯煙の立つホテルに着きました。柔いなめらかな何とも言われない肌ざわりのお湯に一週間もつかってたら玉の肌の美人になつて了うのでないかなと思ひました。皆旅のほこりを流しながら、翌朝の高山行が早いので部屋に入り、静かに下呂温泉を楽しみながら床に着きました。朝八時出発、紅葉は一才早いのですが、あた

一泊で行けない方の為に日帰り旅行「民家園」に参りました。こどもも又古い民家の野外博物館で古代国民の生活史の陳列所でありました。世界各国の住宅建築の中で最も独自の伝統と美しさを持つるの古民家が近年急に其の姿を消すので、川崎市が永く保存する為に作られたのだそうです。道のふちには石地蔵、庚申塔、道標なども有り、家の中にもいろいろの道具などが配置、陳列してあります。

東北の曲り家から白壁の家、商家、網元の漁業の家、合掌作り等々、沢山あります。此れだけの大きな家を小高い山の都府迄持つて来られた事に、感謝の気持ち一杯です。桜、梅の木も沢山植えられ、噴水の大きな池の周りの芝生で腰を下ろし、寝ころんだり、ゲームをしたり、皆くつろいで楽しんで遊んで参りました。青少年科学館(プラネタリウム)には満員で入れませんでした。その向うの大きな砂山で子供がゴロゴロ転がったり、かけ登ったりして楽しそうでした。デコちゃん号(機関車)もありました。こんな近くにこの様な所が有ると紹介少々書きました。

厚生大臣の諮問機関である社会保険審議会と国民年金審議会は、今回それぞれ厚生年金と国民年金を月額五万円に増額し、以後これにスライド制を導入して老後の生活を保障すべきであるとの意見を厚生大臣に提出した。政府はこれを四十八年度から実施する方針のようであるから、多少の準備期間があるとしても、近いうちに長い間置き去りにされた老後の保障が大きく前進することになった。

私はこの機会に老人福祉対策の現状に対して多少の批判を加えてみたいと思う。

老人福祉対策には四本の柱がある。それは所得保障、住宅保障、保健及び医療保障、社会活動への参加の奨励である。

一、所得保障については、政府は昭和三十四年に国民年金法を制定し、これにより国民皆年金の体制を整えることが出来たとして高く評価したが、年金の水準が低いために加入者は極めて少なく、老人の大半は生命の灯を支えるにも足りない無頼者である。

このような事情を反映して今回の年金水準の大幅引き上げとなつたわけである。

この計画は遅きに失した嫌いはあるが、実施に移されれば日本は社会保障の先進国と肩を並べて本格的年金時代を迎えることとなるのである。

老人所得保障の大きな前進であるばかりでなく、やがて老人になる若壮年にとつてもこの上ない朗

国民年金に寄せて

鳥生 芳行

報である。

二、住宅保障としては老人福祉法による養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホームがある。

しかし、冷いホームの集団生活の中からは家の実感は生れてこない。老人は家がほしいのである。

こいしいのである。家庭の暖かさに触れたホームという言葉はもう古びてしまつて居る。ホームをこれ以上増設すべきではないとの意見がしだいに高まつてきて居る。

この呼びかけに答えて政府は老人専用室を有するアパート及び個人住宅の建設を急いでいる。

この方式は家族と同居に近い方式であるので、なによりも先づ家族制度の再発見に役立ち、また高度の要保護老人といえども老人家庭奉仕員の助けをかりることが出来るし、場合によっては人浴自動車や車椅子自動車のひき入れも可能であり、まことにすばらしい発想である。

因みに、わが香川には住宅のための土地が多い。自然も残つて居る。

地主には良識がある。近く茅ヶ崎にも都市計画に基く用途別地域の線引きが行なわれると聞くが、その際、香川が第一種住宅地域に指定され、緑虫食ひ発展をやめて、緑と太陽の豊かな秩序ある住宅街として発展するよう各界の配慮を望んでやまない。

三、保健及び医療保障に對し、政府、地方公共団体はいわゆる老人医療無

料制度を目玉商品として売り出しているが、無料といわず給付十割と呼んでもらいたい。

有難い制度であるが、欲をいえば、老人の傷病率は高く、治りにくく、療期間も長期に及ぶ傾向があるので、保険診療の枠はこれを撤去するよう切に希望したい。

四、老人の社会的活動への参加の奨励としては、老人福祉法第三条2に、老人はその希望と能力に応じて適当な仕事に従事する機会を与他社会活動に参加する機会を与えられるものとするとある。

仕事をもちつことは老人の精神的身体的能力の後退を阻止するうえに効果的であるけれども、前面に横たわる壁は厚い。平均寿命は毎年伸びて、今年にはついに男七〇、女七五にもなり、老人の余命はいよいよ長くなる様相を見せており、しかりであることを声を大にして訴えたい。

所得あり、家あり、仕事あり、健康あり、これこそ最高の老人福祉であろう。

日本は経済大国である。これらの条件は近い将来必ず調えられるものと信じて疑わない。

香川の老人のみならず、いよいよ若壮年のみなさんも、いのちを大切に持つていようではありませんか。

(昨年十月執筆のもの)

生活メモ

冬の健康に注意

暖かい部屋からトイレに行つて急に倒れたという話はよく聞く。原因の多くは日本に多い脳卒中の発作。暖房のきいた部屋から寒い所に出ると、血管が急に収縮して破れやすくなる。老人や血圧の高い人は特に注意してほしい。この為トイレも暖かく保つ必要があり、小型の経済的なヒーターを用意したらどうだろうか。


ふろ場でも同じ事が言える。入浴の前にふろのふたをあけて暫く待つのが良い。

もう一つ意外注意されないのが電話の置き場所。玄関や廊下の片すみに置いてある家が多い。リンリンとなつて飛出し、ついつい寒い場所での長電話になりかねない。リビングルームに置き場所を変えよう。ちよつとのことにも気をくばり、冬の健康な生活を考へよう。

(朝日新聞より)

今年もどうぞよろしく
 お願いします。
 広報委員一同

1973年



正月投句集

福引の二本となりて引き迷う
 句の友の一首添えある賀状かな
 静かさに居て正月を噛みしめる
 娘の心初日に立ちて堅かりき
 一年の計きらめきけり初日出
 初日の出青海波は松の影
 旅先の初日の折り夫に従き
 門までの道の箒目松飾
 次の子も進学となるおらが春
 筆始め先づは片目を福だるま
 輝きて白さぎ廻らぬ初日の出
 ひたすらに生きんとぞ思ふ初日記
 新嫁の笑顔も交り歌留多取り
 席ゆずられちよつぱり淋し初電車
 見ゆる物皆新なり初日影
 拍手の音に幸呼ぶ初詣

湘南先生
 柳田ふじ子
 問庭蘇山
 碓百合子
 川島久江
 藤村球子
 沓沢みや
 井上喜枝

雑感

伊藤信子

「魔女のために白鳥にさ...」

「一人来な二人来な、見...」

「一人来な二人来な、見...」

「一人来な二人来な、見...」

「一人来な二人来な、見...」

「一人来な二人来な、見...」

「一人来な二人来な、見...」

「一人来な二人来な、見...」

「一人来な二人来な、見...」

「一人来な二人来な、見...」

みんなの広場

私達の願い

新年明けましておめで...

すがやつぱり近くに局が...

「一人来な二人来な、見...」

「一人来な二人来な、見...」

「一人来な二人来な、見...」

「一人来な二人来な、見...」



大人でも時々言えない...

囲碁・将棋を愛される方へ

先日香川ニュースに、...

「一人来な二人来な、見...」

「一人来な二人来な、見...」

「一人来な二人来な、見...」

遊びが、どんなに待遠し...

「一人来な二人来な、見...」

「一人来な二人来な、見...」

「一人来な二人来な、見...」

「一人来な二人来な、見...」

笠地蔵



昔、昔ある村に心の優...

「一人来な二人来な、見...」

「一人来な二人来な、見...」

「一人来な二人来な、見...」

四つ辻までくると道の...

「一人来な二人来な、見...」

「一人来な二人来な、見...」

「一人来な二人来な、見...」

「一人来な二人来な、見...」

「一人来な二人来な、見...」

「一人来な二人来な、見...」

「一人来な二人来な、見...」

「一人来な二人来な、見...」

「一人来な二人来な、見...」

「一人来な二人来な、見...」

「一人来な二人来な、見...」

「一人来な二人来な、見...」

「一人来な二人来な、見...」

「一人来な二人来な、見...」

一月のこよみ



1日△新潟県弥彦神社で餅群衆が殺到して大混乱
 死者百二十四人(昭31)
 2日△皇居新宮殿での一般参賀行なわれる(昭44)
 4日△名古屋城の金鯱のうろこ五十八枚盗難(昭12)
 5日△ジャパンライン会社の大型鉱石船ぼりばあ丸千葉野島崎沖の太平洋上で船体が二つに折れて沈没、二人救助されたが船長以下三十一人行方不明(昭44)
 9日△東京都、街頭広告放送など騒音増加に対処し、騒音防止条例公布(昭29)
 10日△NHK教育テレビ開局(昭34)
 11日△八丈島など伊豆七島を静岡県より東京府に移管(明11)
 12日△日本血液銀行協会買血を四月全廃、預血だけとすることを決定(昭42)
 △桜島大噴火、溶岩流出で大隅半島と地続きとなる。死者三十五人、

鹿児島市の降灰四十五センチ(大3)
 14日△原子力研究所、国産第一号炉起工(昭34)
 15日△初の成人の日(昭24)
 △五場所全勝、それまで六十九連勝を続けていた横綱双葉山、安芸海に敗れ国技館内騒然(昭14)
 16日△世界男子スピードスケート選手権大会、札幌円山公園で開催(昭29)
 18日△大阪府西成区柳通りの南海電車、天下茶屋駅構内で難波行臨時急行電車が回送電車と衝突、重軽傷者二百五十三人(昭43)
 △大逆事件生残り坂本清馬、死刑判決五十年目で東京高裁に再審を請求(昭36)
 20日△帝都高速度交通営団丸の内線池袋―お茶の水間開業(昭29)
 △帝国国議会議事堂全焼(明24)
 26日△法隆寺金堂内陣漏電で火災、壁画十二面焼火(昭24)

香川商興会加盟店

本年もどうぞ御愛顧のほどを!

- カバヤ寝具店
- 香川プロパン
- 尾島支店
- 西野支店
- 香川屋菓子店
- 名糖牛乳香川販売所
- イサミヤ酒店
- 金子屋薬局
- 山口屋商物店
- 板倉金物店
- 田中文房具店
- 小坪屋米店
- 池田電器商会
- 三河屋菓子店
- 川口履物店
- 内田履物店
- 丸徳商物店
- 香川クリーニング店
- 中華一番店
- なかぎ薬局
- シヨコーストアー
- 八城商店
- みやしろ商店
- ミヤマ洋品店
- 鈴木木薬局
- よしみや
- 宮代肉店
- 大野菓子店
- 香川電機商会
- 坪田輪業
- 魚屋賢業
- 能沢屋酒店
- こ屋(そば)
- 山口屋(そば)

明けまして

お目出度う

御座います

昨年中は

いろいろと

御愛顧を

賜わりまこと

に有難当う

ございました

本年も光屋

シヨツピングを

どうぞよろしく

お願いします

一同

奥様ニユース

冬きたりなば、春遠からじ。やがて、野すみれたんぽぽの花。咲く日も近ければ寒さをなんとかがんばりましょう。

今年はお子さんには、きつと長い月日かも知れませんがもうすこしです。ね。今年はお子さんが、く上昇するそうです。主婦には頭の痛い年になりそうです。

渡辺 芳人

山の斐甲

初詣少年の日の大櫛
 富士黒く聳えて甲斐に初明り
 童顔にほのと女の初島田
 勝ち抜いて静かに強き独楽の澄み
 甲斐暗れて冬立つ山を重ねたる
 星青く山端に残る霜の朝
 病む人を訪うて師走の閑を得し
 湯煙の白き目に入る今朝の冬
 日を溜めてゆるき斜面や冬菜畑
 呼び声に風強まりぬ年の市

ドキュメント 香川の歴史の人

一口に香川の歴史の人といえど、大岡越前さんの名がすぐ思い浮びますが、しかし、この香川の歴史の人物に三橋勘重郎さんと言う、徳川末期に後世までも名を残されている義人がいるというお話を歴史家と仇名のある名士の方や、又、三橋氏を、感涙を以て、尊敬されている篤志家の方に聞かされた、ただ、驚きました。

勘重郎氏は、庄屋と言ふ立場にあり、この香川の住民を救うために、御政道に反して代官に召し捕れた上、毎日一本づつ指を切りとられ、刑場の露と消えたのだそうです。現在浄心庵の入口にひっそりと一本の古びた柱にその名をとどめており、思わず涙を誘われます。さぞかし愛しい妻子の方もいたでしょう。

男一匹命を張って、真つ赤に燃えた落陽と共に花と散った義烈の生涯を関係者の誰かが、くわしく香川ニユースにのせて頂きたいと願うのは私一人だけではないと思えます。

何百年、歩みつづけてきた土地の皆様が情のあり非常に良い人達ばかりです。現自治会長一熊沢伊助氏の太い眉、浅黒いのがみばしった男性的な容姿こそ、鎌倉武士の面影をしのぶ、実に立派なものであり、私とて相模の国の住人となりし今春の松風に心から香川の皆様の繁栄を祈る次第であります。

南 T日記

茶道教室 について

岩片錦風
杉野抱玉

御縁に恵まれ、香川に永住の居を得ました私共は、少しでも自治会の皆様のお役に立ちたいと思ひまして、ささやかな茶道教室の御紹介をさせて頂きます。

私共はまだ未熟者で諸先生方には遠く及びません。唯、お茶というものはどんなものか、一寸やってみたい気がする。と関心をお持ちの方に、誠心誠意をもってお手ほどきさせて頂きたいと思つて居ります。

○流儀は雲伝心道流と申します。
 お茶の流派は数々ありますが、行きつく境地は一つです。流儀にこだわることはいらなと思います。
 ○服でも着物でも普段着でのけいこです。
 けいこ日は週に一回
 木曜日午後...:岩片
 「このほかのお時間や日取りでも、結構です。御気軽にお相談下さいませ」

火曜日 十時より夕七時
 土曜日

なお、茶道は元来は男子のもの、女子にはけいこを許されなかつたのですが、現在は人数の上では、女子が圧倒的多数になりました。男子の方の点前には、女子とは又違つた堂々たる風格がございまして、女子とは作法が異なります。
 御希望の方は右へお問合せ下さいませ。
 岩片 八五―五五七九
 杉野 八五―〇三七七